



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2013.7.10 Vol. **137**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



平成24年度の就職状況と 新入生合宿オリエンテーション



ACCREDITED
2007. 4～2014. 3

卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
研究活動	5
地域連携活動	6
学内トピックス	7
インフォメーション	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
平成26年度 入学試験の概要	15

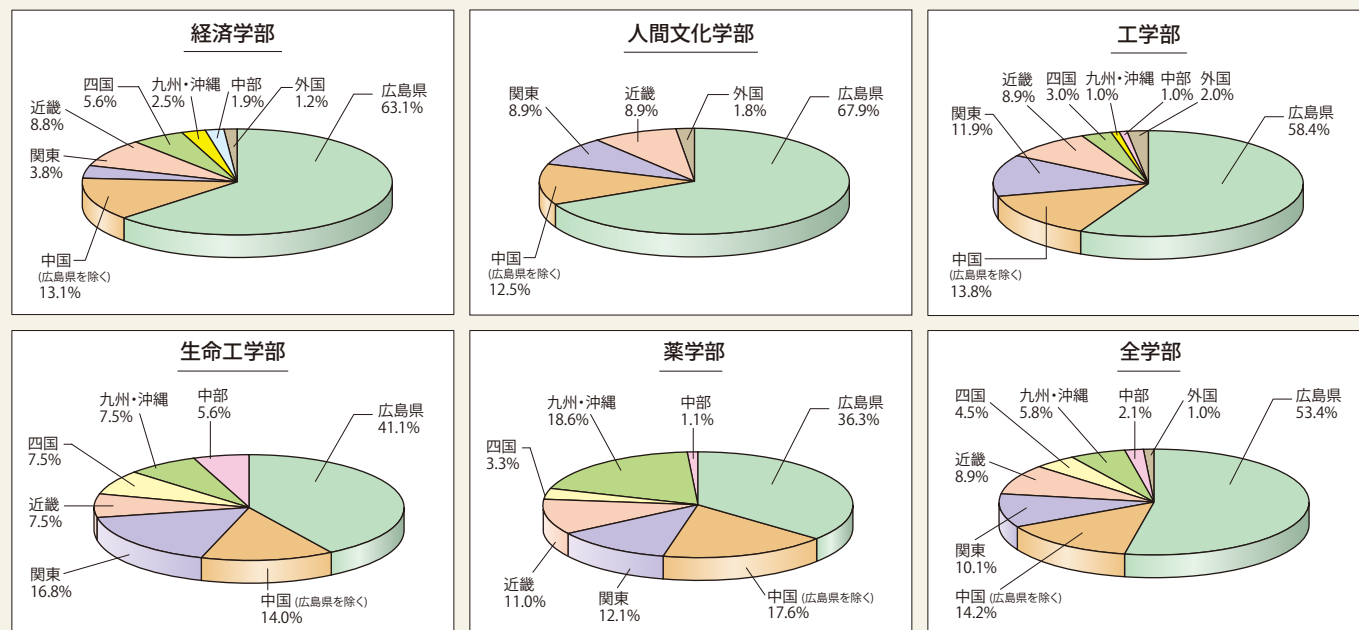
平成24年度の就職状況と就職支援

平成24年度に本学が受付けた求人件数は9,856件で昨年度の8,956件を900件上回りました。就職情報誌のWEB募集等を加えれば求人件数もかなり向上し、平成24年度の本学卒業生の就職率は98.1%を達成することができ、昨年度の93.0%を5.1%も上回りました。中国・四国地区は93.8%という中で、卒業生が頑張った結果といえます。全国平均は93.9%(そのうち、私学は93.4%)となっていますが、これを大きく上回る就職率を達成することができました。このように、就職状況はかなり良くなっており、努力すればほとんどの学生が就職可能な状況になっています。

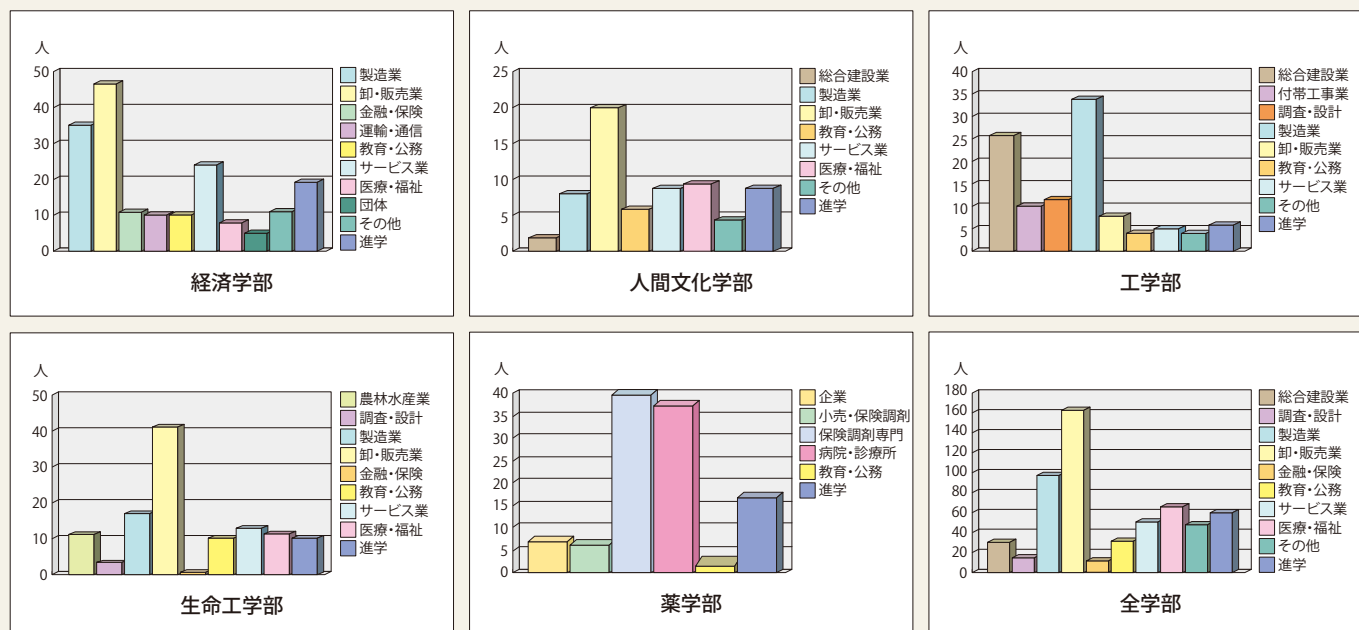
現在、就職委員会を中心に今年就職した卒業生の就職先を優先的に企業訪問し、卒業生のフォローと新卒採用枠拡大のお願いをしています。また、学内での単独企業説明会を積極的に増やすなど大学を挙げて就職支援を強化しています。

平成24年度卒業生の各学部・全学部の地域別、業種別(大学院等への進学を含む)の進路状況は以下の通りです。

平成24年度 地域別進路状況



平成24年度 業種別進路状況



福山大学独自の就職支援の取組み

福山大学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員による就職指導に加えて独自のプログラムによる就職支援を行っています。

昨年度、導入された学生情報配信システム「ゼルコバ」のWEB就職システムにより、大学宛の求人票を学内だけでなく家からでも閲覧や検索ができるようになりました。

また、自分が希望する企業や職種・業種等を登録しておけば求人票が大学に届いた時に学生個人のメールアドレスに案内しています。

ゼミ担当教員は、学生が登録している希望の業種・職種・企業名等を就職指導に活かし、指導方法や面談内容を登録したり、学生は就職活動の現況報告を登録することでゼミ担当教員との双方向のコミュニケーションを充実させることができます。これらは就職委員、就職課職員も閲覧や登録ができ、一人の学生に対して各方面から一貫性のある就職支援を行うことができるようになりました。

そのほか、次のような支援を行っています。

1.就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス 5月
就活スケジュールとこれからの対応
- 第2回就職ガイダンス 5月
一般常識模擬テストの実施
- 第3回就職ガイダンス 7月
学外講師による一般常識テストのフォローアップ講座
- 第4回就職ガイダンス 7月
ゼルコバ活用方法について
- 第5回就職ガイダンス 10月
SPI2模擬テストの実施
- 第6回就職ガイダンス 11月
外部講師によるSPI2テストのフォローアップ講座
- 第7回就職ガイダンス 12月
就職体験発表会

2.就職対策講座

- (1)就職セミナー 6月・9月・11月
(キャリアアドバイザーによる)
- (2)新聞の読み方講座 6月
- (3)履歴書・エントリーシートの書き方講座 1月
- (4)グループ面接対策講座 3月
- (5)グループディスカッション対策講座 4月

3.学内合同企業説明会

- 福山大学の学生のために県内外から優良企業等を招き、説明会を開催
- 2月に全学部を対象として3回実施し、206社が参加
- 5月に主に薬学部を対象とした説明会を開催し、30病院と90社が参加

4.単独企業説明会

- 福山大学の学生のために大学構内で個別の会社説明会を実施

5.保証人との就職懇談会

- 薬学部 4月
- 経済学部・人間文化学部 11月
- 工学部・生命工学部 12月

6.キャリアカウンセラーによる就活相談・面接訓練

- 外部講師(CDA資格保有者)が指導

7.ジョブサポーターによる就活相談

8.就職情報サイト運営会社が主催する合同企業説明会(広島市・岡山市)に貸切バスで参加。

- 広島県・岡山県内外の多くの学生が集まる合同企業説明会に貸切バスで参加し、就活意識を高揚。

採用内定者のコメント



経済学科 4年
西村 和博
内定先
株式会社広島銀行

私が就職活動を始めたのは、3年生の12月からです。硬式野球部に所属していたため、オフシーズンに集中して行おうと決めていました。そのため、リーグ戦までの3ヶ月間は合同企業説明会や個別の会社説明会にも積極的に参加しました。

広島銀行を志望したのは、就職課の方からゼミ担当の先生を通じて「受けてみないか」と勧めていただいたからです。はじめは本当に自分に向いているのか、本当に自分がやりたいことなのか、曖昧でしたが、説明会や先輩行員さんとの座談会に参加しているうちに広島銀行で働きたいと思うようになりました。

就職活動を行ううえで最も力を入れたのは、企業研究と新聞購読です。広島銀行に入りたいと強く思いはじめてからは、その企業に関するデータや資料などあらゆる情報を集め、誰よりも深く知ろうと努めました。就職課の方の計らいで学生向けではなく個人投資家向けに開かれた企業説明会にも参加させていただくことができました。また、新聞購読に関しては中国新聞と日本経済新聞の一面と金融欄、株価の欄は毎日チェックして常に社会の動向を把握しておくようにしていました。その甲斐あって、面接の際に様々な話を展開することができました。

就職は自分の一生を大きく左右するものです。中途半端に行くと、後悔するのは、自分自身です。最後まで諦めずに頑張ってください。最後に、私の就職活動を支援してくださった就職課の方々をはじめ、大学の職員の方々、ありがとうございました。



電子・ロボット工学科 4年
佐藤 祐太
内定先
JFEスチール株式会社

私が就職活動に対して意識し始めたのは、3年生の夏休みからでした。就職セミナーが本格的に始まり、周りの同学年の学生も就職活動を意識し始めたからです。本格的に始めたのは12月からでした。合同企業説明会では、よく聞く名前の企業、対しては全く聞いたことのない企業、分け隔てなく積極的に参加していききました。

たくさんの企業説明会に行きつづけて気付いたことがあります。それは、社員の方々の仕事に対する熱意、そしてその仕事の魅力を全力で伝えて来ているということです。私たちの会社に来てほしいという気持ちがひしひしと伝わってきました。この合同企業説明会では、自分の希望する職種にあった企業を探すには、一番適した場だと思います。他にも、会社見学や企業説明会など多く参加しました。その中で、社員の方々の働く風景を見学したり、働いている人の生の声が聴けるのでとても貴重でした。この見学会は、自分の将来像をしっかりと見せてくれたと思っています。

面接の場では、自己PRや志望動機を明確にしておくことが大切です。自分がこの会社にどれだけ入りたいかという意欲をしっかりとぶつけましょう。

この就職活動を通して、社会人になるうえでひとつ成長できたものもあります。幅広く視野を広げて様々な企業説明会に参加して、自分が働いているイメージと照らし合わせながらしっかりと企業を見てください。大変な時期ですが、家族や友人、大学の先生などを頼りながら、自信を持って頑張ってください。



薬学科 6年
後藤 裕香
内定先
尾道市立市民病院

私は就職活動をするにあたって、調剤薬局と病院のどちらを志望するかで悩んでいました。5年次の実務実習において薬剤師の仕事を実体験し、病院での仕事にやりがいを感じたこと、興味がある癌治療について深く勉強したいと思ったことから病院を志望しました。また、希望する病院の雰囲気を実際に感じることが大切だと思い、積極的に職場見学のアポイントメントを取って足を運び、働いている薬剤師さんのお話を聞かせてもらいました。

私が受けた採用試験は、小論文と面接でした。小論文は難しい言葉を使おうとせず、自分の考えが分かり易く伝えるように心掛けて書きました。その中にはどんな題材でも実務実習などでの自分の体験を入れると良いと思います。これは面接でも同じで、自分の体験から感じたことやそれを職場でどう活かしたいか熱意を持って話せば思いは伝わります。

就職活動を始めると大切な事は、自分が何をやりたいかを見極めることだと思います。実務実習は多くのことを体験できるとても良い機会です。就職活動にも必ず役に立ちます。先輩の皆さんは日々目標を持って実習に臨んでください。最後までやり遂げたという思いが大きな自信につながるはずです。自分を信じて頑張ってください。

新入生合宿オリエンテーション

「初めの第一歩」



私たち経済学部は、4月5日(金)・6日(土)にみろくの里へ新入生合宿オリエンテーションに行きました。まだ、入学して間もなくの行事だったので大学のこともよく分からず、いきなり時間割を作成しても大丈夫なのか、周りが殆ど知らない人ばかりで友達がちゃんとできるのかなど不安でいっぱいでした。そんな状態の合宿1日目は、大学へ集合するところから始まりました。教室では学生番号順に席に着いていたので、みろくの里に着く前までにはお互いに自己紹介をし合ったりしてすっかり打ち解けることができました。そのため、部屋で集まってもスムーズに話ができて良かったです。夕食の時間には緊張しつつも違う部屋の人と話をし、交流の輪を広めることができました。その日の夜に時間割を作成しました。作成の最中に疑問を抱く機会が度々あったのですが、その都度先生や先輩方に丁寧に教えて頂き、とても安心して作業を進めることができました。また、時間をたくさん使って時間割を作成できたのでゆとりを持って取り組むことができたのも良かったです。2日目には学科ごとの説明会があり、自分が来年からどういったことをするのか考えることができました。先輩方からも自分の体験談や普段どういった生活をしているのかといったことまで聞くことができ、これからの大学生生活の参考になりました。2日間の短い間でしたが、当初の不安など微塵も感じさせないような有意義な時間を送ることができました。私はこの合宿で友好関係を広げ、大学のことについての話を沢山聞いたことがとても良かったなと思いました。

最後になりますが、私たちの合宿の為に尽力を尽くしてくださった方々、ありがとうございました。これから良い大学生活を送れるように頑張っていこうと思います。

経済学部 1年 内海 愛



意外な課題で? 仲良く交流

4月5日(金)と6日(土)の2日間、尾道ふれあいの里に行きました。最初に、自己紹介ゲームをしました。くじに書いてあるお題でトークをするというもので、中には変わった質問もありましたが、みんなと楽しく打ち解けることができました。その後、漢字クイズをしました。個人戦とチーム戦があって、チーム戦では、私のいるチームが優勝しました。漢字の勉強がこんな所で役に立つなんてと思いました。その後、体育館で心理学科の人と合同のゲームをしました。この時にも、たくさんの人と話をすることができました。2日目も体育館で、心理学科の人と合同でドッジボールをしました。複数のボールを使い、女子のみ固いバレーボールを使ってもいいという変則的なルールでした。その後、メディア情報文化学科のみんなでハンカチ落としをしました。意外に盛り上がり、気づけば私も全力疾走していました。

2日間の合宿を通じてクラスの人々と仲良くなり、とても楽しい合宿になりました。合宿でお世話になった先生方や合宿リーダー、来てくださった先輩方、本当にありがとうございました。そして、これから4年間よろしくお願いします。

メディア情報文化学科 1年 柴田 翔也



大学生活をいい形でスタート!

私たち機械システム工学科は、4月5日(金)・6日(土)に行われた新入生合宿オリエンテーションで、JFEスチール西日本製鉄所と備後ハイツに行きました。

オリエンテーション1日目は、まずJFEスチール西日本製鉄所を訪問し、設備や製鉄の工程などの見学をさせていただきました。「製鉄」・「製鋼」・「圧延」・「表面処理」の順に作業を行い、新たな鉄を作り出していました。工場内はとても暑く、新たな鉄を精製することには大変だと初めて知りました。その後は備後ハイツに移動し、自己紹介や学生リーダーの先輩方のお話を聞いたりしました。自己紹介では、自分の趣味や好きなことなどを紹介して新しい友達をつくるきっかけになりました。先輩方のお話では、大学での楽しかった出来事などを教えていただきました。また、スモールグループディスカッションでは5～6人のグループで「砂漠に不時着した時にどうするか?」についてお互いに語り合ったり、グループで意見をまとめたりと楽しく討論することができました。

2日目は、履修登録についての説明を聞き、自分の年間の時間割を考えたりしました。その他には、今後の大学生活で大切なことなどのアドバイスを教えていただきました。先生方や先輩方からは、今後につながる貴重なお話を聞くことができました。

今回の新入生合宿オリエンテーションでは、大学生活をいい形でスタートさせることができました。4年後には立派な社会人になれるよう大学で学んでいこうと思います。

機械システム工学科 1年 長谷川 聖



合宿は友好を深める一番良いチャンス

私たち海洋生物科学科の新入生は109名という大人数で、新入生合宿オリエンテーションを迎えました。入学してすぐの合宿だったため、初めは楽しみというよりも、不安な気持ちの方が大きかったです。しかし、みんなと接するにつれて楽しいと思えるようになりました。先輩方が企画してくれたレクリエーションにより、あまり話したことがなかった人とも仲良く話せるようになり、短い時間の中でたくさんの友達ことができました。レクリエーションで盛り上がった後、自分の部屋に戻ってからも同室の人との会話は絶えず、海の生物の話で夜遅くまで盛り上がりました。翌日は、因島キャンパスへ移動して、養殖施設や水族館を見学しました。

私は県外から入学してきたので知っている人は一人もいなかったのですが、合宿を通じてたくさんの友達ことができました。合宿は友好を深める1番良いチャンスだと思います。海洋生物科学科という珍しい学科に入ったので、ここで学んだことが今後に生かせるようにみんなと一緒にこれから4年間頑張っ

て過ごして行きたいと思います。

海洋生物科学科 1年 中野 茉優子



仲良くなるきっかけになりました

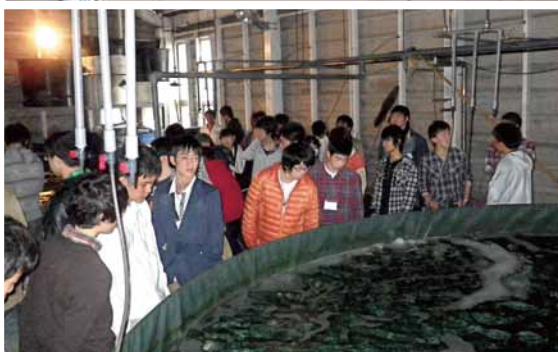
私たち薬学部は、福山ふれあいランドで、1泊2日の新入生合宿オリエンテーションを行いました。最初は、お互いに知らないのでも合宿を楽しめるような気分ではありませんでした。しかし、最初のスポーツアワーで、一緒にスポーツをして汗をかい

たおかげで、多くの友達をつくることができました。また、夕食後のゲームでは、一切会話をせず、お題に合わせて1語ずつ交代で言葉を書く伝言ゲームがとても楽しかったです。

そして、私がこの合宿で一番楽しかったと思ったことは、夜の新しい友達との会話でした。いろいろな所から来ているので、出身地でしか体験できないことや、出身地の食べ物、言葉遣い、そして文化などを話しながら夜更かしをしたことが一番楽しかったです。

この合宿はとても有意義でした。これからの6年間を楽しく、そして共に高めあえる仲間ができた2日間でした。

薬学科 1年 臂 大樹



研 究 活 動

平成25年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金)

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基盤研究B

- ◎位藤 邦生 人間文化学部 教授
学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習材の開発と検証 (10万円)
- ◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授
枯草菌緊縮制御ネットワークの全貌の解明とその応用 (290万円)

★基盤研究C

- ◎淵上 倫子 生命工学部 教授
加熱・高圧・乾燥処理による野菜・果実の物性変化とペクチン質の関係 (70万円)

平成25年度 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基盤研究B

- ◎位藤 邦生 人間文化学部 教授
学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習材の開発と検証 (180万円)

★基盤研究C

- ◎木村 安美 生命工学部 教授
高齢買い物弱者と低栄養との関連の検討に基づく食教育とその評価 (100万円)
- ◎三川 敦 経済学部 准教授
公表情報が証券市場における投資家の意思決定に与える影響－社会責任情報を中心に－ (90万円)
- ◎日比野 例 薬学部 教授
マイクロ波照射下アザ電子環状反応を活用する縮合複素環天然物の全合成と医薬素材探索 (140万円)
- ◎桑原 哲也 経済学部 教授
高度成長期の外資系企業の経営史的研究 (90万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授
事象関連電位による虚偽検出における新たな多重プローブ法の確立 (90万円)
- ◎堤 俊彦 人間文化学部 教授
レアシンδροーム児と家族への包括的・継続的な心理的支援の確立に向けての基礎研究 (50万円)
- ◎日野 恵美子 経済学部 講師
役員人事と戦略 戦後日本の低迷、暴走、独走企業の分析 (50万円)
- ◎藤井 隆雄 経済学部 教授
賦課方式年金がマクロ経済に及ぼす影響 (120万円)
- ◎田中 久男 人間文化学部 教授
トシオ・モリ文学の全体像の構築とジャパニーズ・アメリカニズム研究の確立 (100万円)
- ◎青野 篤子 人間文化学部 教授
男女平等意識の継承に関する研究:母親と娘の「語り」を通して (200万円)
- ◎日下部 典子 人間文化学部 准教授
広島県における妊産婦を対象としたうつ予防のためのプログラムの実施と効果の検証 (60万円)
- ◎尾関 孝史 工学部 教授
電子ノートシステムの提案とその導入効果の検証に関する研究 (160万円)
- ◎石井 香代子 生命工学部 准教授
新調理システムを用いた介護食の品質評価 (280万円)

★挑戦的萌芽研究

- ◎山本 寛 生命工学部 教授
ボディウェイト・コントロール中の脂肪酸代謝 (110万円)
- ◎太田 雅也 生命工学部 教授
植物のフィトレメディエーション機構解明と実用化に向けた取り組み (60万円)

★若手研究B

- ◎柴田 寛子 生命工学部 助手
高圧力・加熱処理により調製した柑橘マーマレードの品質比較 (80万円)
- ◎村上 泰子 生命工学部 講師
非アルコール性脂肪肝炎の栄養療法を目指したn-3系脂質の脂質代謝に及ぼす影響 (100万円)
- ◎中東 潤 工学部 准教授
水素処理による微細粒チタン合金の超塑性加工法による歯科補綴物の試作と評価 (50万円)
- ◎渡辺 伸一 生命工学部 講師
絶滅危惧種カブトガニをキーストーン種とした沿岸生態系の保全 (50万円)
- ◎川人 潤子 人間文化学部 講師
知能に応じた自己複雑性介入プログラムの効果の検討 (100万円)
- ◎安田 暁 人間文化学部 講師
デジタル・ハイブリッド技術による発色現象カラープリント技法の更新・制作展開 (100万円)
- ◎中浦 嘉子 生命工学部 助教
餅の煮溶け性と澱粉特性との相関解明 (120万円)
- ◎上敷領 淳 薬学部 講師
脂質異常症治療薬エゼチミブによるコレステロール吸収トランスポーター阻害機構の解明 (180万円)



地域連携活動



「あふれさせセンサー」の作成体験コーナー



モデルカーの作成体験コーナー



体組成計による測定体験コーナー

府中産業メッセ2013で体験型展示

5月25日(土)・26日(日)の2日間、府中市総合体育館ウッドアリーナにおいて「府中産業メッセ2013」が開催され、主催である府中商工会議所の要請を受け、本学工学部より電子・ロボット工学科、機械システム工学科、生命工学部より生命栄養科学科の3学科が参加しました。30回目を迎える今回は、両日とも晴天にめぐまれ大盛況となりました。

「あふれさせセンサー」の作成体験コーナー

電子・ロボット工学科では、まず音声認識能力を備えたロボットが「こんにちは!」とご挨拶。側にはレストランのズンドウ鍋にタイヤがついたような?ロボット。これは学科で現在開発中の耐熱型レスキューロボットで、火事や災害現場での救助者探索を目的としたものであり、社会の安心・安全に寄与するロボットの開発が大いに期待されます。その他、人間の表情を指示命令として読み取る能力を備えたロボットも展示され、実際に動かしてみることができました。子供たちでにぎわっていたのが「あふれさせセンサー」の作成体験コーナーです。ハンダ付けで回路を作成し、お風呂の水が適量になるとブザーで教えてくれるかわいいロボットづくりに、皆さん夢中になっていました。将来のロボット博士が誕生するかも知れませんね。

モデルカーの作成体験コーナー

機械システム工学科で、まず目を引いたのは鮮やかなブルーのレーシングカー。これは全て学生たちで作り上げた電気自動車(EV)です。その技術力、開発能力に驚きます。府中市産業界とのコラボレーション事業であり、学生が3D-CADでデザインしたボディは府中市のFRP(繊維強化プラスチック)業者で作成され、車は府中市で開催された「第4回全日本EV&ゼロハンカーレースin府中」EV部門で優勝しています。今後、これを公道で走らせることが目標とのことでした。こちらの学科の体験コーナーは、輪ゴムを動力としたモデルカーで、やはり動くおもちゃは大人気で、子供たちが目を輝かせて作っていました。

体組成計による測定体験コーナー

生命栄養科学科では、今や恒例となった体組成計による測定体験。こちらは18歳以上が対象とあって、大人の皆さんが順番待ちの行列をつくっていました。健康のために気になる脂肪量や筋肉量、基礎代謝量などが短時間で測定できます。学科の学生さんたちがお一人お一人のデータ数値について丁寧に解説し、とても喜んでもらっていたのが印象的でした。

この行事は、府中市民の方々や府中市産業界と福山大学との繋がりを確認し、これからのさらなる協力関係を作っていくよい機会となりました。 建築・建設学科 准教授 水上 優

平成25年度 市民フォーラム-食と健康のライフサイエンス-全3回



+++++ 平成25年度 +++++

第1回 6月1日(土) 14:00 ~ 16:00,
定員40名, 福山大学(松永)

【魚介類の調理科学実験してみよう-】

「赤身魚と白身魚の違いは？」

イカは加熱するとなぜ丸まる？」

生命栄養科学科 瀧上 倫子 教授

この市民フォーラムも6年目が始まりました。昨年のシリーズ参加者は延べ343名でした。常連の方も増えています。これも食と健康に関連する機関のお力添えのお蔭と感謝しています。

関係機関の福山市では、第2次福山市健康推進計画・食育推進計画(第2回で講演)を今年度から新たに開始しました。運営する市民会議の第4部会に、生命栄養科学科が召集され、増々社会貢献の場を拡げようとしています。

今年第1回の市民フォーラムでは、魚介類の調理科学として、本学の学生実験と同じ内容を行いました。1つは、イカのコラーゲン繊維の方向に熱収縮が起こることを理解しておく、調理後のイカのそりをイメージできることを調べました。各テーブルの学生の補助もあり、胴体の部分を縦方向や横方向の短冊状にものさしを使ってcm単位で切り取って、茹でて、そりを観る実験を皆さんが熱心に行っていました。

別の実験では、魚の種類によって筋繊維の太さ、長さが異なることを顕微鏡画像でスクリーンに映し、調理後のそばろの状態との関係を考察しました。

皆さんからは、学生の補助は適切で、かつ調理の原理を知る実験はとても新鮮で興味深かったと好評でした。

生命栄養科学科 教授 山本 英二

第2回 6月29日(土) 14:00 ~ 16:00,

定員100名, 宮地茂記念館

【健康を支える食生活】

①「第2次福山市食育推進計画」

福山市保健所 健康推進課

森川 晶子 次長

②「健康食品と臓器障害」

生命栄養科学科 渡邊 誠 教授

第3回 11月16日(土) 14:00 ~ 16:00,

定員100名, 宮地茂記念館

【健康寿命を延ばそう】

①「ロコモティブシンドロームの予防と運動」

川崎医療福祉大学 健康体育学科 長尾光城 教授

②「健康のための運動と栄養」

生命栄養科学科 石崎 由美子 教授

③ 平成25年度市民フォーラム

「食と健康のライフサイエンス」修了式

今年もスタート！第13回福山大学生命工学部公開授業！

今年も福山大学生命工学部公開授業が、福山バイオビジネス交流会との共催で始まりました。

この催しは、備後地域を中心に企業・一般・高校生の皆様に、バイオテクノロジーの最新技術や生命の不思議などをわかりやすく紹介しようという意図から始まり、今年ではや13回目を迎えます。一昨年に起きた東日本大震災からの復興はまだ完全ではありませんが、今年はアベノミクスの影響が景気が回復基調にあり、また日本人の長い間の悲願であった富士山の「世界文化遺産」登録という明るい話題も増えてきました。そこで今回は「♪生き方いろいろ♪」というテーマで、もう一度我々人間を含めた地球上の生物の生き様を考えて見ようということにしました。6月～7月の2ヶ月にわたって、2題ずつの講演を3回、実験参加型の公開実験を1回行う予定ですが、すでに第1回から第3回までの講義を盛況の内に終えることができました。第1回は、6月15日(土)に備後地域地場産業振興センターで、海洋生物科学科北口博隆准教授による「ホントは浅くない(?)アサリのはなし」とわたくし高村による「ホントは暗くない(?)クラゲのはなし」と題した講演が行われました。北口先生の講演は、アサリの生活史や生態だけでなく、減りつつあるアサリを如何に増やすかという観点から、それを取り巻く環境にまで言及した講演で、聴講者にも好評でした。一方、高村の講演は、クラゲの大量発生による火力発電所や漁業に及ぼす悪影響だけでなく、観賞生物としてのクラゲの癒し効果や、それに含まれる有用物質の利用などクラゲの良いところも紹介しました。講義を受けた皆さんも毎年来て下さる方がほとんどで、かなり熱心に聞き入っていました。参加人数は25名ほどでしたが、熱心な質問が制限時間いっぱいまで続き盛況でした。第2回は、6月29日(土)に宮地茂記念館で、市民フォーラムとの共催で、「健康寿命を延伸しよう」というサブタイトルで行いました。講演のテーマは、生命栄養科学科の渡邊誠教授による「健康食品と臓器障害」、福山市保健所健康増進課の森川昌子講師による「福山市健康増進計画」で、最近話題の健康食品についての話題と、福山市による市民の健康増進を促進させる取組について話していただきました。第3回は、7月6日(土)に再び備後地域地場産業振興センターで、生物工学科太田雅也教授による「意外に役立つ(?)植物を使って環境保全!」、同学科広岡和丈准教授による「暮らしに役立つ(?)いろいろな微生物」の2講演が行われ、植物や微生物の知られざる一面や、それらが我々人間の暮らしに如何に関わっているのか、興味深いお話しをしていただきました。第4回は、7月27日(土)に本学で公開実験を行います。今年度も一般・高校生向けに、人気の高いチョコレート作りをはじめとして4テーマを、さらに毎年好評な小学生を対象としたキッズメニューも、「チリメンモンスターを探そう!」など5テーマを用意しています。また、この事業の一部は、公益財団法人マツダ財団の第29回マツダ事業助成に採択され、その支援を受けています。第1回から第3回まではすでに終了しましたが、まだまだ続きますので、興味のある方は是非ご来場ください。参加費はすべて無料です。

海洋生物科学科 教授 高村 克美



写真1 富士彰夫副学長と東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会雄賀真理事



写真2 東京体育館

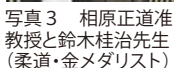


写真3 相原正道准教授と鈴木桂治先生(柔道・金メダリスト)



写真4 連携協定式典会場



写真5 東京体育館

東京オリンピック招致委員会と連携協定締結！

5月23日(木)、学校法人福山大学(福山大学・福山平成大学)は、広島県で唯一となる東京都及び東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会と“連携協定”を締結しました。

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致を目指す東京都と東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会は、スポーツの分野を研究する大学、オリンピック・スポーツ指導者・関係者を輩出する大学等と相互に連携・協力し、「人間教育と国際交流を通じて世界平和に貢献」するための教育や研究活動を行うことにより、オリンピック・ムーブメントを広く振興させるため、大学との連携協定を締結しています。

本協定は、学校法人福山大学と東京都及び東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会がそれぞれの資源を活用し、相互に連携・協力体制を構築することを目的としています。主な連携協定事項は、①人的分野及び教育的分野での連携、②オリンピック・パラリンピック招致に関わる研究分野での連携、③オリンピック・ムーブメント推進に関する連携、④オリンピック・パラリンピック招致に関わる国内PR活動での連携等です。

協定締結に至る背景としては、学校法人福山大学における全国レベルの高いスポーツ競技実績と研究活動業績が大いに評価されたことが要因です。

また、学校法人福山大学では、若き学生の活躍の舞台となる7年後の2020年オリンピック・パラリンピックを是非東京で開催できるように三者の連携を通じ、招致活動を協力していきます。各地で招致を応援する声が高まる中、広島でも福山大学を中心に新しいムーブメントがまた一つ始まります。

～福山大学 松田文字子学長のコメント～

「広島は福山から、東京オリンピック・パラリンピック招致活動とオリンピック・ムーブメントを応援していきます!」

経済学科 准教授 相原 正道

本学では、開学以来毎年、教育懇談会を開催しています。

この「教育懇談会」では、保証人の皆様に本学の教育理念及び指導方針、学生生活や就職についての説明を行う全体説明と、ご子女の学業成績及び履修・出席状況等の説明や保証人の皆様のあらゆるご相談・ご質問に応じる個別懇談を行っています。

また、福山大学会場では、保証人の皆様に対象に就職講演会を実施する予定です。

今年度は、右表のとおり開催いたしますので、是非、この機会にご参加いただければ幸いです。

なお、詳細は、7月中旬に送付いたします「教育懇談会の開催について(ご案内)」をご覧ください。

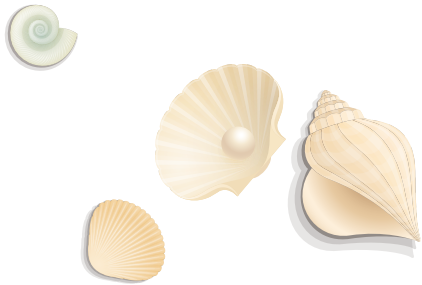
開催日程	開催地	会場名	対象学部
8月31日(土)	広島	広島ガーデンパレス	全学部
8月31日(土)	高知	高知共済会館コミュニティスクエア	全学部
8月31日(土)	姫路	姫路キャッスルホテル	全学部
8月31日(土)	松山	ホテルサンルート松山	全学部
8月31日(土)	鳥取	白兎会館	全学部
8月31日(土)	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島	全学部
9月1日(日)	高松	高松東急イン	全学部
9月1日(日)	松江	松江東急イン	全学部
9月1日(日)	福岡	福岡ガーデンパレス	全学部
9月1日(日)	岡山	ビュアリティまぎび	全学部
9月1日(日)	山口	山口グランドホテル	全学部
9月7日(土)	大阪	大阪ガーデンパレス	全学部
9月7日(土)	名古屋	名古屋ガーデンパレス	全学部
9月14日(土)	福山	福山大学	経済学部(2・4年次生) 人間文化学部(学生番号:奇数) 工学部(学生番号:奇数) 生命工学部(学生番号:奇数) 薬学部(学生番号:奇数)
9月15日(日)	福山	福山大学	経済学部(1・3年次生) 人間文化学部(学生番号:偶数) 工学部(学生番号:偶数) 生命工学部(学生番号:偶数) 薬学部(学生番号:偶数)



平岡ゆうこさん(広島)



日本刀や折り紙等の展示ブースが並ぶ会場内日本文化エリアの様子



心理学科学生がWakamatsu Farm Festivalで英語スピーチ！

私は、5月18日(土)にアメリカのカリフォルニア州サクラメント市で行われた第3回若松コロニーフェスティバルに参加し、英語でスピーチをしてきました。このフェスティバルの目的は、若松コロニー「おけいさん」の精神と歴史、また福島県を襲った一昨年の東日本大震災のことを世界に語りつぎ、復興に寄与することなどでした。サンフランシスコ総領事やその他多くの団体も参加し、プログラムにはおけいさんのお墓参りも含まれていました。若松コロニーとは、明治2年に会津藩士20数名が、当地にお茶栽培と養蚕を目的に設立したもので、その一行にいたのが当時17歳の女性おけいさんでした。現在、アメリカの自然保護団体(ARC)による日本移民の歴史的土壌としての保護運動が行われています。

英語でのスピーチは不安でしたが、現地の人々に励まされ、「気持ち」を自分なりに伝えることができました。今回参加するまでは、私も移民のことを知りませんでしたが、今後は「おけいさん・震災を語る運動」に同じ年代の学生たちがもっと積極的に関わっていけるように活動していきたいと思っています。

心理学科 2年 平岡 ゆうこ

平成25年度 福山大学学生表彰

学生課

6月14日(金)、大学会館にて平成25年度福山大学学生表彰(在学生)表彰式が行われました。

今回は、学業部門28名が表彰(奨励賞)されました。受賞者は、下記のとおりです。表彰式では、松田文子学長からの挨拶に続いて、受賞者を代表して薬学部薬学科3年藤井美輝さんが、受賞の喜びと御礼の言葉を述べました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。

奨励賞							
【学業部門】							
学 部	学 科	学 年	氏 名				
経済学部	経済学科	2年	松丸 晋士		建築・建設学科	3年	廣本 涼
	経済学科	3年	上田 哲也		情報工学科	2年	奥田 宏平
	国際経済学科	3年	長谷川 朋美		情報工学科	3年	夜船 弘佳
	税務会計学科	3年	猶 華億	生命工学部	機械システム工学科	2年	中野 武夫
	人間文化学部	2年	高橋 涼太		機械システム工学科	3年	新祖 祐也
人間文化学部	人間文化学科	3年	和田 彩加		生物工学科	2年	小川 航平
	人間文化学科	2年	佐藤 里香		生物工学科	3年	中山 育弥
	心理学科	3年	藏本 真衣		生命栄養科学科	2年	神波 景子
	心理学科	2年	橋本 紗耶加		生命栄養科学科	3年	有木 祥子
	メディア情報文化学科	2年	松葉 桂	薬学部	海洋生物科学科	2年	小西 瑞希
工学部	電子・ロボット工学科	2年	松島 聖		海洋生物科学科	3年	山内 大希
	電子・ロボット工学科	3年	奥本 直也		薬学科	2年	野村 彰一
	建築・建設学科	2年	平山 真文		薬学科	3年	藤井 美輝
					薬学科	4年	藤脇 孝哉
					薬学科	5年	大杉 祥仁



第5回「友だちにすすめたい本」コンクール表彰式

第6回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部
人間文化学科

人間文化学科が、平成20年度より開催している「友だちにすすめたい本」コンクールも今年で6回目を迎えます。

近隣の高校を始めとして中部地方の高校からも応募があり、また年ごとに応募者数も増加しつつあり着実にこの企画が根付いてきているようです。これも応援していただいている高校の先生方のご協力があればこそで、この場を借りて感謝の意を表するとともに、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

今年も高校生の皆さんからの、友だちがぜひその本を手にとって読みたくなるような熱い感動を伝えてくれる力作を期待していますので、奮ってご応募ください。

人間文化学科 教授 青木 美保



コンクールの概要

本の対象：小説、エッセー、童話、詩などジャンルを問いません。

応募資格 高校生

応募方法 所定の形式に500字以内

※今年度から電子データのみでの応募受付となりました。ご注意ください。

審査員 青木美保(本学教授、審査員長)、血海達哉(児童文学者、ふくやま文学館館長)、光原百合(作家、尾道市立大学准教授)、丹藤浩二(本学客員教授)

表彰 最優秀賞1篇 賞状・副賞

優秀賞3篇 賞状・副賞

佳作賞10篇 賞状・副賞

発表 在籍校を通じて本人宛に通知し、平成26年1月25日(土)(予定)に本学にて表彰式を行います。また、入賞作品は冊子にして3月下旬に出版します。

応募期間 7月1日(月)から9月14日(土)まで

応募先 tomodachi@fuhc.fukuyama-u.ac.jp
学校単位での応募はCD-Rにて、下記住所まで郵送してください。

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学人間文化学部人間文化学科

「友だちにすすめたい本」コンクール係

お問合せ 人間文化学部事務局 084-936-2111(内線2222)

第8回(2013年度)高校生CMコンテスト作品募集中

人間文化学部
メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第8回高校生CMコンテスト」を開催します。

今年のテーマは「あなたの『まち』を、全国にアピールしよう!」です。地域の魅力で人をひきつけ、そのまちなりに行きたくなるようなCMを考えてもらいます。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活などにおける表現活動の成果を示す好機になるかもしれません。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」や、地域の魅力を短いフレーズに凝縮する「広告コピーの部」は、映像制作の設備を持っていない学校でも、気軽に参加できる部門です。なお、昨年度は「映像作品の部」に104作品、「企画コンテの部」に120作品、「広告コピーの部」に232作品の応募をいただきました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fukuyama-media.jp/>

また、学科のブログでも、コンテストに関する情報を随時発信していきます。

審査には、山崎誠氏(株式会社OHKエンタープライズ)、田中聡登氏(映像クリエイター、本学非常勤講師)ら、プロフェッショナルの映像クリエイター、CMクリエイターをお招きします。そして三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定しています。どうぞご期待ください。

お問い合わせは、人間文化学部事務局

TEL084-936-2112(内線2223)もしくは、info@fukuyama-media.jpまで。

メディア情報文化学科 講師 安田 暁



第7回(2012年度)高校生CMコンテスト受賞式より

昨年の
実技審査の
様子

第2回最優秀賞 『はながたえびどんぶり&ナムルくん』

第3回 高校生アイデアどんぶり選手権

生命工学部
生命栄養科学科

生命栄養科学科では、第3回目となる高校生アイデアどんぶり選手権を開催します。高校生が食と健康に関心を持ち、自分たちの住んでいる地域の様々な食材を使って料理作りをすることを応援します。

第一次審査はレシピと写真による書類審査、第二次審査は実技審査(8月8日(木))です。第二次審査に勝ち残った8名は、生命栄養科学科の調理実習室においてアイデアどんぶりを含む計2品の調理を行います。昨年は142件の応募の中から『はながたえびどんぶり&ナムルくん』が最優秀賞に選ばれました。また、入賞作品の一部は第一食堂で期間限定メニューとして登場する予定です。「第3回高校生アイデアどんぶり選手権」の詳細は、生命栄養科学科のホームページをご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/nutrition/>

生命栄養科学科 教授 木村 安美

学友会 短 信



サッカー部



硬式野球部



バスケットボール部



学友会 第4回フィッシング大会

第2回 文 創 祭

文化創造プロジェクト

目指せ未来のクリエイター!!

会場展示

- 舞臺部
- 書道部
- 写真部
- Good Jam Factory
- プロジェクトM

ステージ発表

- ダンス部
- ダンスチーム「SPARK」
- 管弦楽団
- 吹奏楽団
- 三蔵太鼓を打つ会

同時開催
高校生のための
「進路別セミナー」

この会場をお待ちしています!

入場料: 無料

日 時: 6月22日(土)10:00 ~ 15:00

場 所: 福山大学宮地茂記念館
(福山駅北口から徒歩1分)

お問い合わせ先
福山大学学友会執行部
☎084-936-3676

福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY
http://fucweb.fukui.ac.jp/

学友会 第2回 文創祭チラシ

【サッカー部】●前期4月21日～7月14日・後期9月8日～11月10日 2013年度中国大学サッカーリーグ1部出場●5月12日～26日 2013年度(第37回中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯 全日本大学サッカー)トーナメント大会中国地域予選大会出場●6月23日～8月24日 2013年度全広島サッカー選手権大会決勝大会出場 【陸上競技部】●5月17日～19日 第67回中国四国学生陸上競技対抗選手権大会10000mW2位廣藤耕一(経済4年),3位清家将徳(経済2年),6位森永悟史(生命栄養4年),10000m・5000m8位中村祐希(経済2年)●6月1日 第46回広島県学生陸上競技選手権大会出場●6月21日～23日 2013年度日本学生陸上競技個人選手権大会10000mW20位廣藤耕一(経済4年) 【硬式野球部】●4月6日～5月26日 平成25年度中国六大学野球春季リーグ戦出場第5位●6月28日～30日 第27回中国地区大学野球新人戦出場 【剣道部】●5月19日 第60回中四国学生剣道選手権大会出場●5月25日～26日 第58回西日本剣道選手権大会出場●6月16日 第7回広島県学生剣道大会出場 【柔道部】●5月18日 平成25年度中国四国学生柔道優勝大会出場 【実践空手道部】●6月16日 JAPAN GAME2013 第21回全日本空手道選手権大会出場 【水泳部】●5月19日 第17回広島県学生選手権水泳競技大会 100m背泳ぎ(大会新),200m背泳ぎ(大会新)小笠原菜子(薬2年)(第89回全日本学生選手権水泳競技大会出場権獲得) 【弓道部】●4月20日 第46回中国学生弓道選手権大会出場●5月19日 ばら祭協賛第34回福山市近県弓道大会出場 【ソフトテニス部】●5月1日～5日 平成25年度第35回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会,第57回中国学生ソフトテニス優勝大会,第15回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会出場 【男子バレーボール部】●4月27日～28日 平成25年度第77回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会出場 【硬式庭球部】●6月15日 平成25年度春季中国四国学生テニス選手権大会出場 【軟式野球部】●6月17日～21日 平成25年度西日本地区学生軟式野球春季Ⅱ部リーグ戦出場 【ゴルフ部】●6月5日 第37回中国四国学生ゴルフ選手権予選大会出場,通過により7月3日～5日開催の本戦大会に出場 【卓球部】●5月23日～26日 第64回中国学生卓球選手権春季大会出場 【バスケットボール部】●4月13日～7月21日 2013年度広島県学生バスケットボール選手権大会春季交流リーグ戦出場 【YRC(ボランティア)部】●毎月清掃活動 クリーンウォーキングin福山・松永・芦田川●5月18日～19日 第46回福山ばら祭参加 【ダンス部チアダンスチーム】●4月21日 第10回びんごちゅーピー祭出演●5月18日～19日 第46回福山ばら祭参加 【吹奏楽部】●5月18日～19日 第46回福山ばら祭参加●6月2日びんごアマチュア音楽フェス音・音参加 【Light Music Club】●5月18日～19日 第46回福山ばら祭参加 【学友会執行部】●5月15日 平成25年度春季学長杯争奪競技大会開催 ソフトボール,バスケットボール(3on3)●6月10日 第4回福山大学フィッシング大会開催●6月22日 平成25年度福山大学文化創造プロジェクト「文創祭」開催 学友会執行部,三蔵太鼓を打つ会,吹奏楽部,管弦楽団,チアダンスチーム,写真部,書道同好会,華道部,茶道部,Good Jam Factory●7月8日 春季学内献血実施 (学務部 学生課)

学友会 春季学長杯争奪競技大会(FUS)

開学記念日(5月15日(水))に開催された恒例の春季学長杯争奪競技大会には,学生,教職員300名が参加しました。当日は,晴天に恵まれ,野球場でのソフトボール,体育館でのバスケットボールで白熱した試合が行われました。参加者は,怪我,事故等なく一日爽やかな汗を流し,親睦を深めることができました。次回,秋季FUSにもたくさんの方々の参加をお待ちしております。

学友会 海洋生物科学科 3年 堀之内 依莉

学友会 第4回フィッシング大会

学友会執行部,海洋生物研究会主催「第4回フィッシング大会」を6月9日(日)に因島で開催しました。今回は,学生,教職員40名が参加し,本学附属の内海生物資源研究所(マリンバイオセンター)での見学後,瀬戸内海の海辺で親睦を深めながら,それぞれの釣の腕前を競いました。大漁ではなかったものの,鯛,キス,アイナメ等を釣り上げ,魚にポイントをつけ,上位3位の入賞者を決定しました。大会終了後は,「立つ鳥跡をにごさず」の気持ちで,全員で海辺の清掃を行い,怪我なく無事終了しました。これも菊田安至学生委員長をはじめ,海洋生物研究会顧問の水上雅晴助教,学生課職員等多くの方々の協力のできたものだと思います。これからも様々な楽しい行事を企画・実行していこうと思いますので,ご協力をお願いいたします。

学友会 建築・建設学科 3年 亀田 仁志

学友会 「文化創造プロジェクト 文創祭 ～輝け!! 未来のクリエイター～」

6月22日(土),宮地茂記念館において「福山大学 文化創造プロジェクト 文創祭～輝け!! 未来のクリエイター～」を開催しました。このプロジェクトは,本学学友会文化系クラブ・サークルや学部・学科(電子・ロボット工学科)の活動紹介を目的として,地域住民の方々や小・中・高・大学生へ文化を発信する学友会の企画です。今年度は,プロジェクトM(松永活性化プロジェクト)の参加もありました。当日は約150名の来場者の方々に美術作品展示,ダンス披露,三蔵太鼓の演奏等やお茶会,書道,楽器演奏,ロボット製作等の体験を通じて楽しんでいただけたと思います。今後も学友会イベント等を通じて,地元地域の文化創造を盛り上げていけるよう,更に地域の方々との連携を築きながら頑張っていきたいと思っています。来場者の皆様,運営に携わっていただいた方に厚く御礼申し上げます。

学友会 税務会計学科 3年 鐘尾 昌隆

国際交流瓦版

◆「世界の国を学習する場」、「国際交流を行う場」を提供する、ひろしまTomodachiクラブ(広島県主催)によるTomodachiピースレポート国際交流行事が福山YMCAで開催され、本学から楊爽さん(経済4年 中国出身)が参加し、小学生から高校生までの子供達と意見交換・異文化交流。

(11月5日)

◆Yotova Maria Yotovaさん(メディア情報文化 交換留学生 ブルガリア出身)が、福山市立東村小学校で第3回ブルガリアの文化・教育・言語の授業「ジト」のお菓子づくり。最終日には、国際交流授業に対するお礼の会が開催され、健康を願うブルガリアのお守り「マルテニツァ」を贈呈。



(12月4日・2月20日)

◆(公財)ひろしま国際センターによる「留学生住宅保証制度」、本学での利用開始。

(1月16日)

◆日本経済学教育協会、第22回経済学検定試験(ERE)(平成24年7月1日受験)ミクロ・マクロ分野でSランクの成績優秀者、李燕南さん(経済4年 中国出身)が平成24年度学生表彰(文化部門)。

(1月23日)

◆平成24年度(公財)ロータリー米山記念奨学生に、李燕南さん(経済4年 中国出身)が採用決定。

(1月31日)

◆日中友好広島県議員連盟主催による講演会・交流会がひろしま国際ホテルで開催され、本学から曾令竺さん(税務会計3年 中国出身)ら2名が出席し、日中での経済・友好交流を促進。



(2月25日)

◆外国人留学生を支援する会主催の広島県東部の留学生による日本語スピーチコンテストが福山市立大学で開催され、本学から出場した鄭亜楠さん(人間文化3年 中国出身)が「異文化交流の大切さ」のスピーチで最優秀賞を受賞。本学の最優秀賞受賞は昨年度から連続受賞。当コンテストには、中国、ブルガリア、ネパール、ベトナム、シンガポール出身の留学生、7校15名が参加。



(3月3日)

◆中国、協定校の四川外語学院成都学院からの平成24年度交換留学生、黄華さんら3名が1年間の本学への留学を修了し、田中哲郎国際センター国際交流部運営委員長とともに松田文子学長、富士彰夫副学長・国際センター長に帰国挨拶。



◆広島県日中親善協会主催、中国からの留学生を対象とした送別会・激励会が、メルパルク Hiroshimaで開催され、本学から梁広さん(国際経済 平成24年度卒業生 中国出身)ら7名が参加し、日中友好交流。

(3月5日)

◆日本経済学教育協会、第23回経済学検定試験(ERE)平成24年12月2日受験)において、ミクロ・マクロ分野で藤藤さん(経済4年 中国出身)がSランクの上位成績優秀者。

(3月11日)

◆平成24年度学位記授与式が挙行され、学部留学生51名(経済学部41名、人間文化学部5名、工学部5名)、大学院修士課程留学生2名が卒業。齊星さん(国際経済 平成24年度卒業生 中国出身)が、学科総代。

(3月20日)

◆中国・広東技術師範学院と本学との学術教育協定を締結。本学と海外の大学との協定校は13校目、中国では11校目の協定校。

(4月1日)

◆平成25年度入学式が挙行され、学部留学生37名(経済学部26名、人間文化学部9名、工学部2名)、大学院修士課程留学生6名(経済学研究科5名、人間科学研究科1名)が入学。

(4月3日)

◆平成25年度(財)八幡記念育英奨学生として、謝子銘さん(人間文化4年 中国出身)が採用決定。

(4月19日)

◆平成25年度(公財)熊平奨学文化財団奨学生として、張迪さん(人間科学研究科 心理臨床学専攻 大学院修士課程2年 中国出身)ら3名が採用決定。

(4月23日)

◆中華人民共和国駐大阪総領事館の李春生教育室長ならびに馬贊領事(教育担当)が松田文子学長、富士彰夫副学長への表敬訪問のため、来学。懇談では、大久保勲学校法人福山大学孔子学院長と施永達中方院長も同行され、本学に在籍している中国からの外国人留学生の教育・生活指導上の課題や中国等の大学間連携について、意見交換。



(4月24日)

◆福山大学留学生会主催「留学生新入生歓迎会」をFu's Café(大学会館2F)で開催。新入生を囲んで

在学生、教職員との交流。



(5月10日)

◆Georgi Konstantinov Vassilev駐日ブルガリア特命全権大使が書記官、バラの女王と共に本学の松田文子学長を表敬訪問。その後、CLAFT(大学会館3F)で本学の学生12名が参加して、懇話会(大使と語ろう!)を開催。



(5月17日)

◆国際知っ得講座「第27回服部元気コム地域の茶の間に額日敦布和さん(国際経済4年 中国、内モンゴル出身)が、福山市駅家服部コミュニティ館において、内モンゴルの文化紹介、「スーホーの白い馬」朗読、馬頭琴の演奏で文化交流。

(5月20日)

◆(公財)熊平奨学文化財団奨学生との交流会がリーガロイヤルホテルで開催され、本学の奨学生3名と共に国際センター留学生部長の李森教授が出席。

(5月31日)

◆広島地域留学生総会・スポーツ大会が広島大学で開催。スポーツ大会では、本学はバスケット部門優勝、ミニサッカー部門では準優勝。本学留学生会会長の宋晨陽さん(経済3年 中国出身)ら26名の学生と共に国際センター留学生部長の李森教授が参加。



(6月10日)

◆平成25年度文部科学省 私費外国人留学生 学習奨励費予約奨学生として、張揚さん(経済学研究科 大学院修士課程1年 中国出身)ら11名(学部生8名・大学院3名)が採用決定。

(6月11日)

(学務部国際交流課)

学 内 人 事

【名誉教授称号授与】

前 工学部 教授	富田 武満
前 工学部 教授	梅田眞三郎
前 生命工学部 教授	里内 清
(以上 4 月 1 日付)	

【役職関係】

◎就任	
人間文化学部長	青野 篤子
工学部長	靄崎 展
経済学研究科長	古島 義雄
人間科学研究科長	堤 俊彦
生命工学系研究科長	秦野 琢之
薬学研究科長	福長 将仁
人間文化学部長補佐	青木 美保
薬学部長補佐	岡村 信幸
心理学科長	平 伸二
機械システム工学科長	木村 純壮
生命栄養科学科長	井ノ内直良
海洋生物科学科長	満谷 淳
大学教育センター副センター長	河原栄二郎
国際センター副センター長	岩本 博行
社会連携センター長	町支 臣成
社会連携センター副センター長	三輪 泰彦
情報処理教育センター副センター長	内垣戸貴之
内海生物資源研究所長	南 卓志
R I センター長	廣瀬 順造
保健管理センター副センター長	原口 博行
就職副委員長	廣瀬 順造
キャリア形成支援副委員長	久富 泰資
キャリア形成支援副委員長	中村 博
教務副委員長	塚原一郎義治
教職課程委員長	河原栄二郎
教職課程副委員長	荒木 紀幸
教職課程副委員長	重迫 隆司
入試委員長	富田 久夫
入試委員長補佐	平 伸二
入試副委員長	倉掛 昌裕
大学入試センター試験実施副委員長	北口 博隆
自己評価副委員長	森田 哲生
広報副委員長	中東 潤
ハラスメント対応副委員長	日下部典子
学術研究倫理審査委員長	福長 将仁
全学共通設備・機器等管理委員長	松浦 史登
全学共通設備・機器等管理副委員長	町支 臣成
女子学生寮寮監	井上 敦子
(以上 4 月 1 日付)	
◎退任	
人間文化学部長	位藤 邦生
経済学研究科長	泉 潤慈
人間科学研究科長	青野 篤子
人間文化学部長補佐	青野 篤子
薬学部長補佐	富田 久夫
心理学科長	堤 俊彦
機械システム工学科長	野西 利次
生命栄養科学科長	渕上 倫子
海洋生物科学科長	河原栄二郎
大学教育センター副センター長	倉掛 昌裕
社会連携センター長	福長 将仁
生命工学部附属内海生物資源研究所長	南 卓志

教務副委員長	三川 敦
教職課程委員長	倉掛 昌裕
入試委員長	平 伸二
入試副委員長	木村 純壮
大学入試センター試験実施副委員長	町支 臣成
女子学生寮寮監	橋本優花里
学術研究倫理審査委員長	日比野 俐
(以上 3 月31日付)	

【教員】

◎定年退職	
人間文化学部 教授	三宅正太郎
工学部 教授	栗延俊太郎
工学部 教授	梅田眞三郎
工学部 教授	清水 光
工学部 教授	靄崎 展
生命工学部 教授	里内 清
薬学部 教授	大瀨 修
薬学部 教授	廣瀬 順造
薬学部 教授	澁谷 博孝
(以上 3 月31日付)	

◎辞職	
経済学部 教授	坂本 和丈
経済学部 講師	岡谷 良二
人間文化学部 教授	山代 宏道
人間文化学部 准教授	磯貝 淳一
人間文化学部 准教授	引野 亨輔
人間文化学部 講師	樋町 美華
人間文化学部 講師	杉本 達應
工学部 教授	松本 静夫
工学部 准教授	寺井 雅和
工学部 助手	岡原 綾佳
薬学部 助手	岩野 美帆
(以上 3 月31日付)	

◎任期満了	
大学教育センター 講師	Jeffrey J.Nazzaro
(3 月31日付)	

◎昇任	
経済学部 准教授	古市雄一朗
人間文化学部 教授	原 千史
人間文化学部 教授	橋本優花里
人間文化学部 准教授	内垣戸貴之
人間文化学部 講師	川人 潤子
工学部 准教授	中東 潤
生命工学部 教授	石崎由美子
薬学部 講師	大西 正俊
薬学部 講師	松岡 浩史
(以上 4 月 1 日付)	

◎配置換(助手→助教)	
生命工学部 助教	中浦 嘉子
(4 月 1 日付)	

◎配置換	
大学教育センター 准教授	鶴崎 健一
内海生物資源研究所 教授	伏見 浩
(以上 4 月 1 日付)	

◎兼任	
生命工学部 教授(兼)	伏見 浩
大学教育センター 准教授(兼)	野寺 綾
内海生物資源研究所 教授(兼)	満谷 淳

内海生物資源研究所 准教授(兼)	阪本 憲司
内海生物資源研究所 助教(兼)	水上 雅晴
内海生物資源研究所 助手(兼)	菅谷 恵美
(以上 4 月 1 日付)	

◎併任	
大学院生命工学専攻 教授(併)	沖増 英治
(4 月 1 日付)	

◎免併任	
生命工学部 教授(併)	沖増 英治
(3 月31日付)	

◎採用	
経済学部 教授	金丸 純二
経済学部 准教授	藤井 隆雄
経済学部 講師	井出吉成佳
人間文化学部 准教授	野寺 綾
人間文化学部 講師	清水 洋子
人間文化学部 講師	脇 忠幸
人間文化学部 講師	柳川真由美
工学部 教授	靄崎 展
工学部 准教授	中道 上
工学部 講師	山田 明
薬学部 講師	上敷領 淳
薬学部 助手	西山 卓志
大学教育センター 講師	若松 正晃
大学教育センター 講師	Janice R.Brabec
大学教育センター 講師	Laura A.Kurotobi
(以上 4 月 1 日付)	

◎再採用	
人間文化学部 教授	三宅正太郎
工学部 教授	栗延俊太郎
工学部 教授	清水 光
薬学部 教授	廣瀬 順造
薬学部 教授	澁谷 博孝
(以上 4 月 1 日付)	

◎特任教授	
薬学部	大瀨 修
(4 月 1 日付)	

◎客員教授	
経済学部	田中 秀征
工学部	横井 一仁
工学部	高橋 智隆
工学部	溝上 浩司
工学部	南 宏一
生命工学部	谷口 順彦
生命工学部	宮崎 信之
薬学部	村上 信行
薬学部	太刀掛 稔
大学教育センター	丹藤 浩二
(以上 4 月 1 日付)	

◎客員教員(教授待遇)	
経済学部	賈 保華
(4 月 1 日付)	

◎学長特任補佐	
(工学部新構想担当)	高萩 隆行
(4 月 1 日付)	

◎北京教育研究センター 顧問	
	佐藤 利行
(4 月 1 日付)	

【職員】

◎定年退職	
学校法人福山大学事務部部长	後藤 哲男
(福山平成大学担当)	
企画・文書課長	中村 敏朗
(以上 3 月31日付)	

◎再雇用期間満了	
事務局次長	羽原 哲也
(経理・施設担当)	
(3 月31日付)	

◎昇任	
経済学部・人間文化学部事務長心得	杉本 直
附属図書館事務長補佐	亀井 聖文
企画・文書課企画・文書係長	小林圭二郎
用度課用度主任	片山 友数
経理課経理主任	栗根 智恵
教務課教務主任	真壁 史江
(以上 4 月 1 日付)	

◎配置換	
企画・文書課長	村上 高士
入試広報係長	坂本 真紀
(兼)学校法人福山大学入試広報係長	
内海生物資源研究所技術職員	岡 英雄
(兼)事務係長	
(以上 4 月 1 日付)	

◎免兼務	
学校法人福山大学入試広報主任	小林圭二郎
(3 月31日付)	

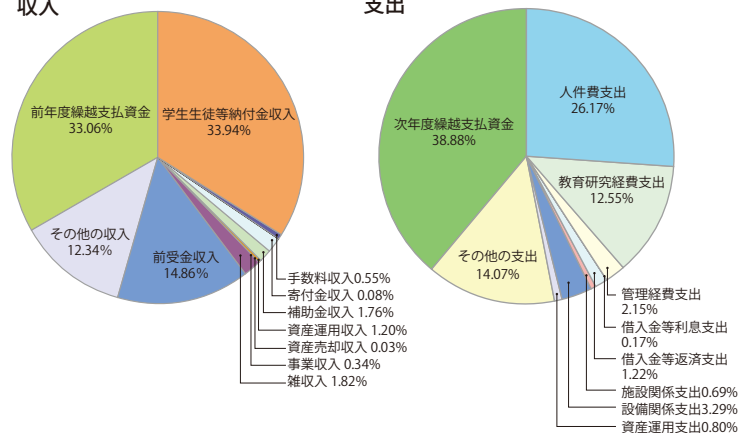
◎採用	
学校法人福山大学参与	大谷 巖
(兼)福山大学参与	
学校法人福山大学特別参事	大久保 勲
入試広報室参事	島田 歆二
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事	
入試広報室参事	前原 幸三
(兼)学校法人福山大学入試広報室参事	
学生課事務職員	道上 真弥
学校法人福山大学総務部(事務嘱託員)	上 泰二
事務局次長(経理・施設担当)(事務嘱託員)	羽原 哲也
(兼)学校法人福山大学総務部次長	
(兼)経理部長事務取扱	
(兼)施設課長事務取扱	
秘書主管(事務嘱託員)	森迫 哲子
(兼)学校法人福山大学秘書主管	
総務部長(事務嘱託員)	栗栖 良光
社会連携センター事務室長(事務嘱託員)	光波祥二郎
(兼)社会連携センター参事	
(兼)学校法人福山大学宮地茂記念館事務室長	
(兼)学校法人福山大学宮地茂記念館参事	
(以上 4 月 1 日付)	

平成24年度 学校法人福山大学財務状況

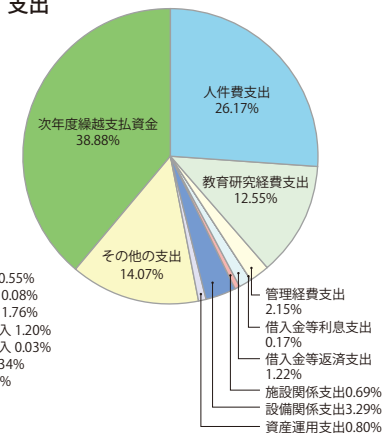
資金収支計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,274,731,024	人件費支出	3,409,341,773
手数料収入	85,436,120	教育研究経費支出	1,635,543,377
寄付金収入	13,135,500	管理経費支出	280,111,615
補助金収入	274,184,085	借入金等利息支出	21,739,124
資産運用収入	186,850,614	借入金等返済支出	159,550,000
資産売却収入	5,034,186	施設関係支出	89,876,707
事業収入	52,465,000	設備関係支出	428,554,596
雑収入	283,320,913	資産運用支出	104,163,875
前受金収入	2,309,881,293	その他の支出	1,833,144,790
その他の収入	1,917,217,540	資金支出調整勘定	△ 106,046,876
資金収入調整勘定	△ 2,619,320,923	次年度繰越支払資金	5,065,080,416
前年度繰越支払資金	5,138,124,045		
収入の部合計	12,921,059,397	支出の部合計	12,921,059,397

収入



支出



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講座料等を含む
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資産運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期末未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

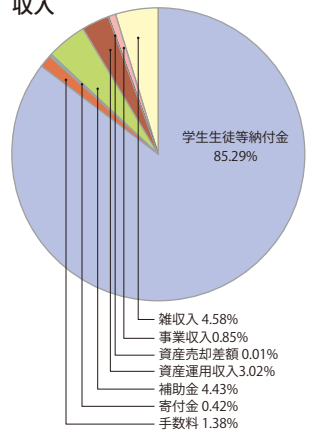
支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学金
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

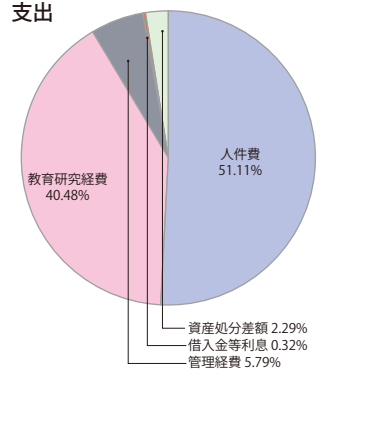
消費収支計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	5,274,731,024	人件費	3,438,284,737
手数料	85,436,120	教育研究経費	2,723,388,319
寄付金	26,197,343	管理経費	389,722,767
補助金	274,184,085	借入金等利息	21,739,124
資産運用収入	186,925,349	資産処分差額	154,140,910
資産売却差額	914,592		
事業収入	52,465,000		
雑収入	283,320,913		
帰属収入合計	6,184,174,426		
基本金組入額	△ 314,357,005		
消費収入の部合計	5,869,817,421	支出の部合計	6,727,275,857
		当年度消費収支差額	△ 857,458,436

収入



支出



消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象とならない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資産運用収入	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
雑収入		学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいう

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学金
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損を含む。

貸借対照表 (平成25年3月31日)		(単位 円)	
資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	60,855,703,811	負債の部	
有形固定資産	29,971,833,164	固定負債	2,380,257,198
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	786,140,000
うち建物	14,572,804,014	うち退職引当金	1,571,139,070
うち構築物	970,731,371	うち長期未払金	22,978,128
うち教育研究機器備品	2,970,785,621	流動負債	2,635,286,045
うちその他の機器備品	24,223,316	うち短期借入金	159,550,000
うち図書	4,491,863,152	うち未払金	63,161,014
うち車両他	15,518,196	うち前受金	2,309,881,293
建設仮勘定	40,684,000	うち預り金	102,693,738
その他の固定資産	30,883,870,647	負債の部合計	5,015,543,243
うち退職金引当資産	1,542,016,830	基本金の部	
うち減価償却引当資産	14,871,208,385	第1号基本金	48,581,878,189
うち校舎建設等引当資産	8,321,176,791	第4号基本金	407,000,000
うち創設準備引当資産	6,112,604,965	基本金の部合計	48,988,878,189
うち保証金他	36,863,676		
		消費収支差額の部	
流動資産	5,522,597,960	翌年度繰越収入超過額	12,373,880,339
うち現預金	5,065,080,416		
うち未収入金他	457,517,544	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	66,378,301,771
資産の部合計	66,378,301,771		

貸借対照表

科目説明(科目は抜粋)

資産の部		
大科目	中項目	備 考
固定資産		
有形固定資産		貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
	建物	建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。
	構築物	庭園等の土木設備又は工作物をいう。
	教育研究用機器備品	標本及び模型を含む。
その他の固定資産		
	電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。
流動資産		
	未収入金	学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における未収入額をいう。
	有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。

科目説明(科目は抜粋)

負債の部		
大科目	小科目	備 考
固定負債		
	長期借入金	その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金	退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流動負債		
	短期借入金	その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものをいう。
	預り金	教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

財産目録 (平成25年3月31日)		(単位 円)	
Ⅰ 資産		66,378,301,771	
1. 固定資産		60,855,703,811	
土 地	大学敷地他 337,887㎡	6,885,223,494	
建 物	大学校舎他 145,742㎡	14,572,804,014	
構 築 物	道路舗装外	970,731,371	
教育研究用機器備品	パソコン他	2,970,785,621	
その他の機器備品	学生寮厨房機器他	24,223,316	
図 書		4,491,863,152	
車 両		15,518,096	
船 舶		100	
建 設 仮		40,684,000	
電話加入権		3,048,426	
施設利用権		600	
保 証 金		33,510,650	
敷 金		304,000	
退職給与引当特定資産		1,542,016,830	
減価償却引当特定資産		14,871,208,385	
校舎建設等引当特定資産		8,321,176,791	
創設準備引当特定資産		6,112,604,965	
2. 流動資産		5,522,597,960	
現金・預金		5,065,080,416	
未収入金		350,967,933	
有価証券		81,265,966	
前 払 金		25,249,353	
仮 払 金		34,292	
Ⅱ 負債		5,015,543,243	
1. 固定負債		2,380,257,198	
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	786,140,000	
退職給与引当金		1,571,139,070	
長期未払金		22,978,128	
2. 流動負債		2,635,286,045	
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	159,550,000	
未 払 金		63,161,014	
前 受 金		2,309,881,293	
預 り 金		102,693,738	
Ⅲ 正味財産 (Ⅰ－Ⅱ)		61,362,758,528	

監 査 報 告 書	
平成 25 年 3 月 18 日	
学校法人 福山大学	
理事長 清水 厚 實 殿 評 議 員 会 議 長 殿	
学校法人 福山大学 監 事 安 保 早 郎 殿 監 事 村 上 俊 二 殿	
<p>私たちは、学校法人福山大学の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同法人の平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書)を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。</p> <p>監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは審判行為に違反する重大な事実のないことを認めました。</p>	
監 査 人	

平成26年度 入学試験の概要

平成26年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学の卒業生又は在学生（留学生は除く）です。その他、指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせください。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験（第1期）	（エントリーシート提出期間） 平成25年8月1日(木) ～8月7日(水)	平成25年9月3日(火)	平成25年9月6日(金)
A O 入学試験（第2期）	（エントリーシート提出期間） 平成25年9月11日(水) ～9月19日(木)	平成25年10月12日(土)	平成25年10月16日(水)
推薦入学試験（A日程） （試験日自由選択制）	平成25年10月12日(土) ～11月1日(金)（消印有効）	平成25年11月7日(木) 平成25年11月8日(金)	平成25年11月13日(水)
推薦入学試験（B日程）	平成25年11月25日(月) ～12月3日(火)（消印有効）	平成25年12月7日(土)	平成25年12月12日(木)
前期入学試験（A日程） （試験日自由選択制）	平成26年1月6日(月) ～1月25日(土)（消印有効）	平成26年1月31日(金) 平成26年2月1日(土) 平成26年2月2日(日) 平成26年2月3日(月)	平成26年2月8日(土)
前期入学試験（B日程）	平成26年2月4日(火) ～2月17日(月)（消印有効）	平成26年2月21日(金)	平成26年2月25日(火)
後期入学試験	平成26年2月26日(水) ～3月10日(月)（消印有効）	平成26年3月14日(金)	平成26年3月18日(火)
センター試験利用入学試験 （前期日程）	平成26年1月6日(月) ～1月25日(土)（消印有効）	個別学力試験は課さない	平成26年2月8日(土)
センター試験利用入学試験 （後期日程）	平成26年2月26日(水) ～3月10日(月)（必着）	個別学力試験は課さない	平成26年3月18日(火)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

○A O入試（第1期・第2期）【福山（宮地茂記念館）】

○推薦入試（A日程）【11/7・11/8 福山（福山大学）・福山（宮地茂記念館）・広島・福岡・岡山・那覇】

【11/7 鳥取・徳島・高知・大阪】【11/8 松江・高松・松山・神戸・山口】

○推薦入試（B日程）【福山（福山大学）・福山（宮地茂記念館）・広島・山口・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】

○前期入試（A日程）【1/31～2/3 福山（福山大学）・福山（宮地茂記念館）・広島・山口・福岡・岡山】

【1/31 鳥取・浜田・宮崎】【2/1 米子・大分】【2/2 静岡・神戸・熊本】【2/3 名古屋・京都・佐賀】

【1/31～2/1 東京・大阪・松山・高知・鹿児島】【2/2～2/3 松江・高松・今治・小倉】

○前期入試（B日程）【福山（福山大学）・福山（宮地茂記念館）・広島・岡山】

○後期入試【福山（福山大学）・福山（宮地茂記念館）・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

新年度が始まって3ヶ月が過ぎました。学報137号では、就職状況と新入生合宿オリエンテーションの特集を組みました。就職では、“超氷河期”ともいわれる現在の厳しい社会状況の中で、昨年度卒業した学生がどのように頑張ったのかを、進路状況に関するデータとともに掲載しました。是非、今年度の就職活動の参考にして欲しいと思います。新入生合宿オリエンテーションでは、思わず“頑張れ!”と声を掛けたいような1年生の率直な気持ちが続いています。研究活動、地域連携活動など各学部学科の様々な活動や取り組みも掲載されており、活き活きとした福山大学の様子がよく分かる誌面になりました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>